

函館工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	都市空間デザイン	
科目基礎情報							
科目番号	0588			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	社会基盤工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	／適宜プリント配布						
担当教員	山崎 俊夫						
到達目標							
1. 都市デザインを計画するための基礎的事項を理解している。 2. 都市デザインの高度化による都市整備手法を理解している。 3. 都市デザインの実現化方策について理解している。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築・都市の法規制に基づく多様な都市デザインの手法について理解している。			建築・都市の法規制を理解している。都市デザインの手法を挙げることができる。		建築・都市の法規制を理解していない。都市デザインの手法を挙げることができない。	
評価項目2	都市デザインの高度化がもたらす都市整備の効果について理解している。			都市デザインの高度化手法を挙げることができる。		都市デザインの高度化手法を挙げることができない。	
評価項目3	参加のデザインによる都市デザイン方策や多様な事業手法を理解している。			都市デザインを実践するための方策を理解している。事業手法を挙げることができる。		都市デザインを実践するための方策を理解していない。事業手法を挙げることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE学習・教育到達目標 (B-2) 函館高専教育目標 B							
教育方法等							
概要	高齢社会、人口減少社会に突入した我が国においては、今後の都市のあり方には環境と調和し自然と共生できる新たな方向性が望まれている。こうした中、都市デザインはまちづくりの中心的な課題となっている。この科目では、都市デザインの理念、歴史、事例、手法などに関する広い知識を習得することにより、都市デザインを構想する高い企画力と批評性を持つ技術者を養うことを目指す。						
授業の進め方・方法	この科目は「都市計画」との関わりが深いとともに、建築・交通・観光・自然・情報など多様な分野に関連する知識が必要となる。講義において新たに身に付けた知識を実践的なものとするためには、多様な分野の知識を積極的に身に付けようとする前向きな姿勢が必要である。講義は板書を中心に行うが、教材は適宜プリントを配布するほか、極力ビジュアルな情報提供を心がける。達成度評価は課題レポートと2回の定期試験で行う。課題レポートは毎回の理解度を図ることが目的である。定期試験では都市デザインに関する創造性を問うため、日頃から都市デザインに関心を持ち考えることが必要である。						
注意点	JABEE教育到達目標評価：定期試験80%（B-2：100%）、レポート20%（B-2：100%）						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	都市デザインの系譜		都市デザインの歴史的背景や系統・潮流が理解できる。		
		2週	建築・都市空間の記述		建築や都市を記述するデザイン・コードが理解できる。		
		3週	まちづくり計画の基礎		建築基準法（集団規定）および都市計画法に基づくまちづくり計画の基礎が理解できる。		
		4週	交通と都市デザイン		交通手段と調和した豊かな都市環境をデザインする方法が理解できる。		
		5週	観光と都市デザイン		都市観光の成立条件ならびに都市デザインとして展開可能性が理解できる。		
		6週	商店街の再生と都市デザイン		衰退した商店街を再生する都市デザインの方法と試みが理解できる。		
		7週	都市の空間演出装置と都市デザイン		都市の空間演出装置の重要性とあり方が理解できる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	都市デザインと情報処理		高度な情報処理システムによる都市デザインの方法が理解できる。		
		10週	建築・都市とユニバーサルデザイン		建築・都市におけるユニバーサルデザインが理解できる。		
		11週	都市再生と都市デザイン		都市再生における都市デザインの果たす役割が理解できる。		
		12週	コンパクトシティと都市デザイン		持続可能でコンパクトな都市の在り方を理解し、日本型コンパクトシティのあり方が理解できる。		
		13週	参加のまちづくりと都市デザイン		市民参加と協働の方法を理解し、参加のデザインのあり方が理解できる。		
		14週	事業手法と都市デザイン		都市計画事業、市街地開発事業など、多様な事業手法が理解できる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験答案返却・解答解説		試験問題の解説を通じて正しい解答を理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
專門的能力	80	20	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0